

厚木基地をめぐる動向と市の主な取り組み

およそ23万人もの住民が暮らす本市に厚木基地が所在することで、多くの市民が、航空機騒音や事故への不安など、長年にわたりさまざまな影響を受けています。今号では、厚木基地の状況や、昨年の厚木基地をめぐる動向と市の主な取り組みについて紹介します。



航空機騒音の主な原因である空母艦載機F/A-18スーパーホーネット

厚木基地の状況

厚木基地と空母艦載機

市民に甚大な被害をもたらしている航空機騒音の主な原因は、横須賀を事実上の母港とする米空母ジョージ・ワシントンの艦載機によるものです。艦載機は、空母が横須賀に入港する前に洋上から厚木基地に飛来し、空母出港後、再び洋上の空母に帰還します。空母が横須賀に入港している間は、厚木基地を拠点として飛行活動を繰り返し、時には深夜まで飛行します。このことは、生活環境の悪化や航空機事故への不安をはじめ、市民にさまざまな負担をもたらしています。

また、空母の出港前には、地上の滑走路の一部を空母の甲板に見立て離着陸を繰り返すF-30A (Field Carrier Landing Practice) が実施されます。



空母ジョージ・ワシントン(米海軍ウェブサイトより)

市の主な取り組み

厚木基地に関する要請活動

市では、県や基地周辺市などと連携しながら、航空機騒音をはじめとした諸問題の解決に向け、国や米側に対して要請活動などを実施しています(左

表参照)。

また、市民・議会・行政の代表者で構成される大和市基地対策協議会(会長・大木哲大和市長)においても、空母艦載機の移駐を一日も早く確実に完了することをはじめ、航空機騒音問題など、厚木基地に起因する諸問題の解決に向け、要請活動などを実施しています。

昨年の主な要請活動

| とき | 内容 | 要請者 |
|---------------|--------------------------------------|------------------|
| 昨年1月9日 | 米海軍空母艦載機の部品落下について | 大和市長 |
| 1月10日 | 米海軍航空機からの部品落下について | 県基地関係 県市連絡協議会 |
| 4月25日 | 空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について | 大和市長 |
| 4月28日 | 空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練について | 県と基地周辺9市 |
| 7月10日 | 米軍新型輸送機MV-22オスプレイの厚木基地への飛来について | 大和市長 |
| 7月11日 | MV-22オスプレイの厚木基地への飛来について | 県と基地関係11市 |
| 7月15日 | 米軍新型輸送機MV-22オスプレイの厚木基地への飛来について | 大和市長 |
| 7月18日 | 米軍新型輸送機MV-22オスプレイの厚木基地への再飛来について | 大和市長 |
| 7月22日 | 米軍新型輸送機MV-22オスプレイの厚木基地への飛来について(緊急要請) | 大和市 基地対策協議会 |
| 7月31日 8月1日 | 米軍新型輸送機MV-22オスプレイの厚木基地への飛来について | 大和市長 |
| 8月1日 | MV-22オスプレイの厚木基地への飛来について | 県と基地関係11市 |
| 8月20日 | 基地問題に関する要望 | 県基地関係 県市連絡協議会 |
| 8月27日 | 厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望 | 大和市 基地対策協議会 |
| 11月6日 | 米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等に関する要望 | 厚木基地 騒音対策協議会 |

厚木基地をめぐる動向

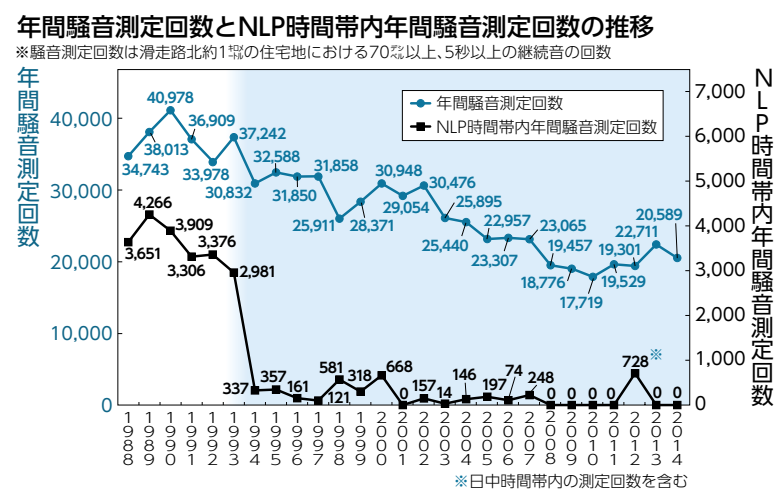
オスプレイが厚木基地へ飛来

昨年7月15日、沖縄県の普天間基地に配備されている米海兵隊の新型輸送機MV-22オスプレイが厚木基地に初めて飛来。同月18日にも再度飛来しました。これを受け、大和市長は、日頃から航空機騒音被害に苦しむ市民の負担の軽減について、国と米側に対し、要請活動を実施しています。

その後、昨年8月と11月、オスプレイが、東富士および北富士演習場での離着陸訓練



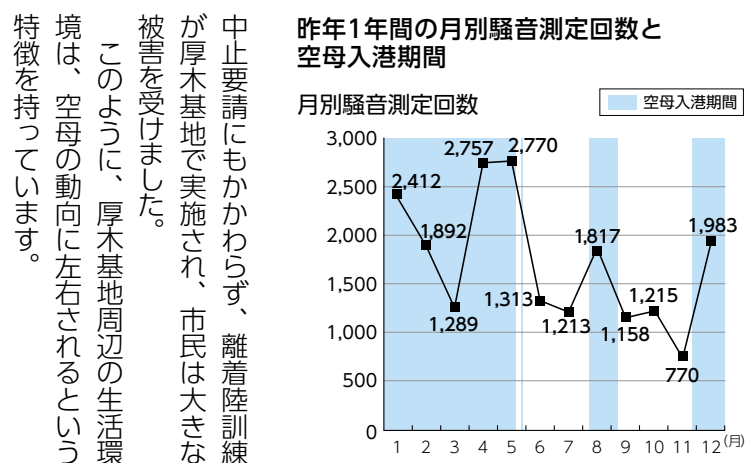
米海兵隊新型輸送機MV-22オスプレイ



なお、厚木基地に関わる諸問題に対する市の取り組みについては、市のホームページに随時掲載しています。



鈴木秀生北米局参事官(右中央)に要請する大和市基地対策協議会委員ら(外務省にて)



中止要請にもかかわらず、離着陸訓練が厚木基地で実施され、市民は大きな被害を受けました。

このように、厚木基地周辺の生活環境は、空母の動向に左右されるという特徴を持っています。

空母艦載機の移駐

2006(同18)年、日米両政府間で合意された「再編実施のための日米のロードマップ」において、F/A-18スーパーホーネットなど計59機の空母艦載機が2014(同26)年までに山口県の岩国基地に移駐するとされています。しかし、一昨年、移駐時期が2017(同29)年頃になる見込みであることが、国から発表されました。その後、昨年5月には、移駐先の施設整備が順調に進んでいるとの認識が国から示されています。

Y-11の後継機として、C-130Rが配備

昨年11月、海上自衛隊の輸送機C-130R 2機が、厚木基地に配備されました。防衛省によると、C-130Rは、これまで厚木基地で運用していたY-11輸送機の後継機として、人員や物資の輸送を担うほか、大規模災害発生時の救援物資などの輸送を実施することです。

今年度中に計6機が配備される予定であると発表されています。



海上自衛隊輸送機C-130R

市では今後も、厚木基地に起因する諸問題の解決に向け、県や基地関係市などとも連携しながら取り組んでいきます。

厚木基地対策協議会(2060)5310(2060)5316。